

(株)名古屋ソフトウェアセンター 2012年度 研修一覧

- 各講座の詳細開催要領は、2012年2月中旬以降、ホームページ(<http://www.nagoya-so.co.jp>)で順次公開いたします。なお、開催日、受講料、研修内容などは変更させていただく場合があります。
- その他、最新技術をもとにした研修を適宜計画しご案内させていただきます。
- 表中の受講料には教材費は含まれておりません。別途ご請求させていただきます。
- 下表の中で入門・応用、基礎・応用講座を年度内に同一人が受講される場合には応用講座の受講料を2割引きにさせていただきます。
- ITスキル標準のレベルを表示しました。数字は受講後に期待できるレベルを表しています。
- 受講申込みのキャンセルは、原則として、講座開始日の1週間前までにご連絡ください。講座開始日の1週間前を過ぎてのキャンセルにつきましては、受講料+教材費を全額ご負担いただきます。予めご了承ください。

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
mobile・ スマー トフォ ン開 発関 連	スマートフォン開発概要	12,600	1	6.5	09:30～17:00	6月	デスクトップやWeb向けのアプリケーションを開発してきたプログラマが、スマートフォン向けのアプリケーションを開発する場合に、どのような点に留意すべきかを習得するセミナーです。	・スマートフォン用のアプリケーションの特色を理解できる。 ・iPhone、Android、Windows Phone それぞれのアプリケーションの違いを理解できる。	1	～2	マシン実習
	Android開発・基礎	75,600	3	19.5	09:30～17:00	7月 10月	これからAndroidアプリケーションを開発する方を対象に、アプリケーション開発のために必要な技術や手順を実習を通して効果的に習得します。開発に必要なAndroidのアプリケーションフレームワークのうち、最も基本となるアクティビティやインテントといったアプリケーションを構成する主要コンポーネントを中心に学習していきます。	・開発環境の構築やエミュレータの使用など基本的な開発手順を理解できる。 ・Androidのアプリケーションフレームワークを利用した基本的なアプリケーションを作成できる。	2	～3	マシン実習
	Android開発・応用	54,600	2	13	09:30～17:00	9月 1月	Androidアプリケーションの開発にはアプリケーション・フレームワークを使用していく必要があります。この研修ではアプリケーション・フレームワークが提供するAPIの使用方法を実習を通して効果的に習得します。実際にアプリケーションを作成しながら開発に必要な周辺技術や手法を合わせて習得できます。	・AndroidのアプリケーションフレームワークのAPIを活用したアプリケーション開発ができる。	3	～4	マシン実習
	WindowsPhone開発・基礎	75,600	3	19.5	09:30～17:00	8月	Visual Studio 2010を使用して、Windows Phone (7.5) 向けのアプリケーションを作成するために必要な基本的なスキルを身につける研修です。	・WindowsPhone7.5アプリの開発環境の構築ができる ・Silverlightを使用した基本的なWindowsPhone7.5アプリの開発ができる	2	～3	マシン実習
	WindowsPhone開発・応用	54,600	2	13	09:30～17:00	10月	この講座の基礎編の内容を踏まえ、さらにネットワークやデータベースと連携したり、Windows Phone 7.5のさまざまな機能を組み合わせたりした総合的なアプリケーションを作成する技術を習得します。	・SQL Server CEやSQL Azureなどを使用するデータベースアプリケーションを作成できる。 ・サーバーとWindows Phoneとの間でデータの同期を行なうアプリケーションを作成できる。 ・MVVM (Model View View-Model) モデルに基づいたアプリケーションが作成できる。 ・Web/WCFサービスやデータベースと連携し、Windows PhoneらしいUIを適切に使用した、総合的なアプリケーションが作成できるようになる。	3	～4	マシン実習
	スマートフォンのためのHTML5	46,200	2	13	09:30～17:00	8月 2月	Webサイトの閲覧環境はスマートフォンやタブレットの登場で大きく変化しています。PCでの閲覧と共通する部分もあれば、端末ごとに異なる画面のサイズや解像度などスマートフォン独自の制限や操作性があるのも現実です。この研修ではスマートフォンに適したWebサイトを構築するためのHTML5/CSS3を中心とする知識や手法を実習を交えた形で習得します。	・スマートフォン用のWebサイト構築における設計ポイントを理解する ・スマートフォン向けにHTML5とCSS3を活用したWebサイト構築ができる	1	～2	マシン実習
クラウド アプリ ケー ション開 発関 連	クラウドアプリケーション開発概要	12,600	1	6.5	09:30～17:00	7月	Windows Azure、Google App Engine、Force.comなどを利用してクラウドアプリケーションを作成するために、どのような基礎知識を身につけておくべきか、クラウドの種類からクラウド開発の環境構築までを解説します。	・PaaS (ユーザーが自分のアプリケーションを配置して運用できるクラウド環境)の種類と概要を説明できる。 ・開発言語別の環境構築ができる。 ・クラウド環境や開発環境ごとのアプリケーション作成の留意点を説明できる。	1	～2	マシン実習
	クラウドアプリケーション開発 (Azure編)	54,600	2	13	09:30～17:00	8月	Windows Azure上で動作するWebアプリケーションやWebサービスの作成方法と利用方法を習得します。更に、Windows Azureの特色(データストアなど)に留意したアプリケーションの構築方法を習得します。研修で使用する言語は、C#とVB.NETです。	・Windows Azureで動作するアプリケーションを開発し、発行することができる。 ・サービス(サーバー側)とそのコンシューマー(クライアント側)を作成することができる。 ・データストアとして、SQL AzureとAzureストレージを使い分けることができる。	2	～3	マシン実習
	クラウドアプリケーション開発 (GAE/J編)	54,600	2	13	09:30～17:00	10月	Googleが提供するクラウド環境で動作するWebアプリケーションの開発手法を習得します。本研修では開発言語にJavaを用います。サーブレットやJSPといったWebアプリケーションの基本要素の他、データストアAPIやGoogleアカウント認証といった各種サービスの利用方法を実習を通して学んでいきます。	・クラウド環境でWebアプリケーションを動作させるまでの手順を理解する。 ・各種サービスを活用したWebアプリケーションの開発を行うことができる。	2	～3	マシン実習
仮想化 技術	仮想化技術概要	54,600	2	13	09:30～17:00	7月	PC資源の有効活用を目的としたサーバ及びデスクトップ環境に対して仮想化環境を構築する手法を習得します。特徴の異なるいくつかの仮想化ソフトウェアの導入を通して仮想化技術の概要を学んでいきます。各種仮想化ソフトウェアの特徴や違いを確認し、業務に最適な環境の選定や構築に役立てることが出来ます。	・仮想化技術の概要を理解し、基本的な操作及び管理ができる。 ・各種仮想化ソフトウェアの特徴と活用方法を把握することができる。	2	～3	マシン実習
	VMwareによる仮想化環境構築	54,600	2	13	09:30～17:00	11月	VMwareを用いたサーバ仮想化の環境構築及び管理手法を習得します。ハイパーバイザー型のVMware ESXiの導入や仮想マシンの作成、仮想ネットワークの設定など実習を通して学んでいきます。また、仮想化環境の一元管理と高可用性の実現方法についても学びます。	・VMware ESXiによる仮想化環境を構築することができる。 ・VMware vSphereを用いた高可用性を実現した仮想環境を構築及び管理ができる。	2	～3	マシン実習

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
Web関連技術	HTMLとCSS	46,200	2	13	09:30～17:00	10月 3月	Webページを作成する上で欠かせないHTMLとCSSを習得し、Web標準に準拠したデザイン方法を学びます。また、利用しやすいホームページ作りのために必要なユーザビリティ等の基本知識を習得します。Webプログラミング(VB.NET, Java, PHP, Perl, Rubyなど)の前提知識としても必須の内容となります。	<ul style="list-style-type: none"> Web標準の考え方を理解する 基本的なHTMLタグとCSSを用いてWebページレイアウトを構成することができる 	1	～2	マシン実習
	HTML5/CSS3(入門編)	46,200	2	13	09:30～17:00	4月 1月	次世代Webとも称されるHTML5、CSS3の技術にスポットを当てて学びます。新仕様で何がかわるのか？新仕様の概要把握と、現行バージョンと比較して追加された機能や技術、役割分担の考察を中心に実際にソースコードを入力することで理解を深めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> HTML5、CSS3の概要を把握する HTML5によるセマンティックなマークアップを実践できる CSS3で実現できる表現の多様化に対応できる HTML5で追加されたAPIの概要を理解する 	1	～2	マシン実習
	JavaScript入門	50,400	2	13	09:30～17:00	6月 1月	JavaScriptはHTML5の到来とともにますます注目されている言語です。この研修ではJavaScriptの使いどころを考察しながら実習し、実践で応用していくための基礎知識を習得することでより使いやすいWebページの作成が行えるようになります。また、「jQuery入門」や「JavaScriptによるHTML5プログラミング」に向けての必須前提知識にもなっています。	<ul style="list-style-type: none"> JavaScriptの基本文法を理解し、既存のソースコードを解説、カスタマイズすることができる DOM構造を理解し、利用することができる JavaScriptの使いどころを理解する 	2	～3	マシン実習
	jQuery入門	50,400	2	13	09:30～17:00	7月 11月	jQueryは数あるJavaScriptライブラリの中で今最も注目されています。その魅力は数多く、クロスブラウザ対策やDOM操作、拡張性の高さなどJavaScriptプログラミングで求められる処理を簡易的に記述できるような広くカバーしていることがあげられます。この研修ではjQueryを初めて利用する方を対象にjQueryの基本から実習を交えて習得していきます。	<ul style="list-style-type: none"> jQueryの基本的な記法を習得しHTML/CSSの操作を行える jQueryを利用した効果的なUIデザインの構築が行える jQueryを利用してWebアプリケーションへの応用(Ajaxなど)が行える 	2	～3	マシン実習
	JavaScriptによるHTML5プログラミング	50,400	2	13	09:30～17:00	9月	HTML5では新しく追加されたマークアップ要素のみならず多くの関連APIに非常に注目が集まっています。その機能は、図形描画や音声/動画再生、地理的な位置の取得、オフラインWebアプリケーションの実現に向けたものなど数多く存在します。この研修ではJavaScriptを用いて現在利用できる注目のAPIを活用するための知識と技術を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> HTML5のAPIを理解しJavaScriptでプログラミングできる。 	2	～3	マシン実習
.NET	VB.NET入門(基本文法とオブジェクト指向の基礎)	69,300	3	19.5	09:30～17:00	6月 8月 10月 12月 2月 3月	VisualStudioの基本操作を習得し、VB.NETを使用したアプリケーションの開発から配布までの一連の手順を学習します。また、オブジェクト指向プログラミングのうち、クラスの作成方法(プロパティ・メソッドなど)を中心に学習します。	<ul style="list-style-type: none"> VB.NETの基本的な言語仕様(文法)が習得できる。 Windowsフォームアプリケーションが作成できる。 クラスを作成し、オブジェクト指向に基づいたコードが記述できる。 	1	～2	マシン実習
	VB.NET応用(開発のための必須技術習得)	75,600	3	19.5	09:30～17:00	7月 9月 11月 1月	この講座の入門編の内容を踏まえ、さらにマルチスレッド機能を追加したり、クラスライブラリ化したり、複数のアプリケーション形態を組み合わせたりなど、より高度なアプリケーション開発手法を習得します。これにより、設計・開発時のさまざまなノウハウが身につきます。	<ul style="list-style-type: none"> VB.NETで、やや規模の大きなアプリケーションを作成できるようになる。 マルチスレッド、セキュリティなど、やや高度な機能を理解し、使用できるようになる。 	2	～3	マシン実習
	C#.NET入門(基本文法とオブジェクト指向の基礎)	69,300	3	19.5	09:30～17:00	6月 10月 2月	VisualStudioの基本操作を習得し、C#.NETを使用したアプリケーションの開発から配布までの一連の手順を学習します。また、オブジェクト指向プログラミングのうち、クラスの作成方法(プロパティ・メソッドなど)を中心に学習します。	<ul style="list-style-type: none"> C#.NETの基本的な言語仕様(文法)が習得できる。 Windowsフォームアプリケーションが作成できる。 クラスを作成し、オブジェクト指向に基づいたコードが記述できる。 	1	～2	マシン実習
	C#.NET応用(開発のための必須技術習得)	75,600	3	19.5	09:30～17:00	8月 11月	この講座の入門編の内容を踏まえ、さらにマルチスレッド機能を追加したり、クラスライブラリ化したり、複数のアプリケーション形態を組み合わせたりなど、より高度なアプリケーション開発手法を習得します。これにより、設計・開発時のさまざまなノウハウが身につきます。	<ul style="list-style-type: none"> C#.NETで、やや規模の大きなアプリケーションを作成できるようになる。 マルチスレッド、セキュリティなど、やや高度な機能を理解し、使用できるようになる。 	2	～3	マシン実習
	.NET(VB/C#)によるWebアプリケーション構築	81,900	3	19.5	09:30～17:00	9月 1月	VB.NETやC#.NETを使用して、IISサーバで動作するWebアプリケーションの作成方法を学習します。データベースアクセスを行うWebアプリケーションの作成方法を学習します。	<ul style="list-style-type: none"> VB.NETやC#.NETを使用したWebアプリケーションを作成できる。 Webとデータベースを組み合わせたアプリケーションが作成できる。 セッションなどの状態管理を行なうことができる。 	2	～3	マシン実習
Java	Java入門(基本文法とオブジェクト指向の基礎)	69,300	3	19.5	09:30～17:00	6月 10月 2月	Javaの基本的なプログラミング技法を習得します。条件判断構文や繰り返し構文などの基本的な言語仕様に加え、クラスの作成方法などオブジェクト指向プログラミングの基礎を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> 制御構造(条件判断や繰り返し)を記述できるようになる。 クラスの作成と継承ができるようになる。 JDKの基本的なクラスを使用できるようになる。 	1	～2	マシン実習
	Java応用(開発のための必須技術習得)	75,600	3	19.5	09:30～17:00	7月 12月	この講座の入門編の内容を踏まえ、さらに、「入出力処理」「コレクション」「マルチスレッド」「GUIプログラミング」など、より高度なアプリケーションを開発するための手法を習得します。これにより、設計・開発時のさまざまなノウハウが身につきます。	<ul style="list-style-type: none"> フォームが開くGUIアプリケーションを作成することができるようになる。 コレクション(複数オブジェクトを管理するオブジェクト)を有効に使ったコードが記述できるようになる。 マルチスレッドアプリケーションが作成できるようになる。 入出力処理や正規表現などを使用したコードが記述できるようになる。 	2	～3	マシン実習
	JavaによるWebDBアプリケーション構築	81,900	3	19.5	09:30～17:00	8月 2月	データベースと連携したWebアプリケーションをJavaで開発する手法を習得します。サーブレットやJSP、JDBCといった基礎技術をMVCアーキテクチャに基づいたWebアプリケーションを構築しながら学んでいきます。また、セッション管理やコネクションプールなど、システムに必要な不可欠な機能についても習得できます。	<ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの開発に必要な基礎技術を理解できる。 サーブレット/JSP、JDBCを用いたWebアプリケーションの開発を行うことができる。 	2	～3	マシン実習

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
C言語	C言語	69,300	3	19.5	09:30～17:00	5月	C言語の基本的な言語仕様を習得します。構文規則・変数と演算子・制御構文や文字列・ポインタ・配列・構造体などについて学習します。	・制御構造(条件判断や繰り返し)を記述できるようになる。 ・配列とポインタを使ったプログラムが記述できるようになる。 ・標準ライブラリに用意されているいくつかの関数を使用することができるようになる。	1	～2	マシン実習
	C++2008/2010によるWindowsアプリケーション構築	75,600	3	19.5	09:30～17:00	11月	WindowsAPIやMFCを使ったアプリケーションやDLLを作成する手法を学びます。この研修では、事前にご要望をいただければ、できる限り、そのご要望に沿った内容に変更して開催することができます。(特に最終日の個別の技術で触れます)	・WindowsAPIを使ったコードを記述できるようになる。 ・MFCを使用したプログラムを作成できるようになる。 ・関数型のDLLを作成できるようになる。	2	～3	マシン実習
WindowsOS/サーバー	ゼロから始めるPCサーバー入門	69,300	3	19.5	09:30～17:00	7月	非ITの企業では、社内のPCサーバーの専任管理者ではなく、兼務している事も多いと思います。パソコンは使っているけど、PCサーバーの管理はしたことがない、という方のために、この研修では、PCサーバーの基礎知識から日々の運用の基本までを習得できます。	・PCサーバーに利用されている、ハードウェア/ソフトウェアの基礎知識を身につける ・PCサーバーの日々行うべき運用の基礎を身につける	1	～2	マシン実習
	WindowsServer2008によるサーバー構築基礎	75,600	3	19.5	09:30～17:00	10月	Windows Server 2008の新たな機能を踏まえ、ネットワーク設計やActive Directoryを使用したサーバーの運用・管理などの技術を習得します。	・Active Directoryとは何かを理解し、必要な環境を構築できる ・ユーザーやリソースの管理環境を構築できる ・Windows Server で構成できる役割を理解できる	2	～3	マシン実習
LinuxOS/サーバー	Linux入門(インストールから基本コマンドまで)	75,600	3	19.5	09:30～17:00	6月 10月	インフラ、システム開発におけるオープンソース技術の需要が増加するとともに企業からはLinux技術者の需要が高まっています。この研修ではLinuxを様々な用途で使用するために必要となる普遍的な基礎知識を習得します。Linuxの歴史・概要、インストール、システム構造、基本コマンド、シェルの基本を実機操作を行いながら解説します。 * 使用ディストリビューションはCentOSを予定しています	・Linuxの基本コマンド(主にファイル操作関連)を利用できる ・viエディタの基本的な操作方法を習得する ・Linuxシステムの基本構造を理解する	1	～2	マシン実習
	Linux応用(サーバー構築からネットワーク管理まで)	81,900	3	19.5	09:30～17:00	1月	Linuxにおけるネットワークの設定、サービスの制御等、サーバ構築における基本設定を習得し、アプリケーション層プロトコルの実装として、telnetとSSH、Apache、Postfixなどのサーバ構築を行い、実際にLinuxで展開できるサービスを習得します。	・Linuxによるインターネットサーバーを構築・管理する知識を習得する。	2	～3	マシン実習
	Linuxシステム管理	81,900	3	19.5	09:30～17:00	12月	Linuxのシステム管理を行うスーパーユーザ(root)に必要な基礎知識を習得します。システムの起動シーケンス、グループ/ユーザ管理、ファイルシステムの管理、バックアップ、ジョブスケジューリングなど管理者に必要な知識と技術を習得します。実機を用いた実習形式で進めていくため、より習得度を高めることができます。 * 使用ディストリビューションはCentOSを予定しています	・システム管理者の役割を理解し管理者に必要なコマンドを利用できる ・ユーザ/グループ管理手法を習得する ・システム管理をカテゴリ別に整理し管理コマンドを含めた知識と技術を習得する	2	～3	マシン実習
データベース技術	SQL基礎	46,200	2	13	09:30～17:00	12月 3月	データベースを直接管理、運用するだけにとどまらず、プログラムでDB連携を行う際にも必要となるSQL構文を習得します。テーブルレコードの検索・追加・更新・削除を中心に、実際に端末操作を行いながら体得できます。また、引き続きSQLを学ぶための環境作りに関してもアドバイスいたします。	・データベースの基本的な操作をSQLを用いて行うことができる。	1	～2	マシン実習
	データベース基礎	46,200	2	13	09:30～17:00	9月 3月	データベース技術者が要求される全般的な業務内容を理解し、論理設計が行なえる能力を身につけます。	・リレーショナルデータベースの特徴を説明することができる。 ・複数種類のデータベース・サーバーの特徴を理解する。 ・データベース技術者の業務内容について理解し、基本的な業務を遂行することができる。 ・その中でも特に、データベースの論理設計を行なうことができる。	1	～2	講義+マシン実習
	データベース応用(設計・運用)	50,400	2	13	09:30～17:00	11月	データベースの設計・構築・運用・保守などの一連の業務を遂行できる能力を身につけます。特に、パフォーマンスや容量の見積り、障害発生時の対応など、データベースを円滑に利用するための管理能力の習得を目指します。	・データベースの設計・構築から運用・保守までのプロセスを理解する。 ・パフォーマンスや容量の最適化を考慮したデータベースの設計・構築を行なうことができる。 ・障害発生時の対応などを考慮したデータベースの運用・管理を行なうことができる。	2	～3	講義+マシン実習
	データベースサーバー構築・基礎(Oracle環境構築編)	75,600	3	19.5	09:30～17:00	9月	ORACLE Databaseを扱う上で、基本かつ必須事項を習得します。この知識が生かせるシステム開発工程は「物理設計」「開発」です。開発現場でのテストデータベースや、検証データベース、及び本番用データベースなどの設計や構築することに焦点を当て、後戻りのない設計や構築をできることを目指します。	・ORACLE Databaseのインストールができる。(データベース用のOS環境を含む。) ・正しい設計ができ、設計に基づいた構築の仕方を身につける。	2	～3	マシン実習
	データベースサーバー構築・応用(Oracle運用編)	81,900	3	19.5	09:30～17:00	1月	ORACLE Databaseをより使いこなすための技術を習得します。この知識が生かせるシステム開発工程は「物理設計」「運用」です。データベースに何らかの障害が発生し壊れてしまった場合や、性能が著しく低下してしまった場合の対策や予防策を中心に進行します。	・ORACLEデータベースの動作の仕組みを理解する。 ・バックアップやリカバリの原理を理解する。 ・パフォーマンス劣化の切り分け、及び対策をすることができる。	3	～4	マシン実習

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
ネットワーク技術	ネットワーク基礎(TCP/IP)	46,200	2	13	09:30~17:00	5月 9月 3月	TCP/IP通信におけるプロトコル階層間でのデータの受け渡し手順について学習し、主な通信プロトコルの概要を習得します。 実習では実際にネットワーク機器に触れ、接続・設定を行い各々がどのような仕組みで動作しているのか理解を深めることでネットワークトラブルの原因究明にも役立つ基礎知識を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なネットワーク(TCP/IP)の設定を行うことができる ネットワークを構成する機器と役割を理解し、小規模LANの構築ができる コンピュータネットワークで利用される主なサービスを理解し、説明できる ネットワークトラブルの原因究明のための基礎知識を身につける 	1	~2	マシン実習+グループ演習
	ネットワーク応用(ルーティング)	50,400	2	13	09:30~17:00	10月 2月	LANを使った実践的なネットワーク構築には、ルーター設定が要となります。ルーター設定を行う上で、ルーティングプロトコルについて理解し、設定できる技術を身につけることにより、社内ネットワークを構築できます。実機を使用した演習により、実践的なネットワーク構築技術を身に付け、LAN/WAN接続ができる技術を習得します。	社内ネットワーク等の小規模LAN/WANネットワークにおけるルーティング設定ができる。	2	~3	マシン実習
	ネットワーク管理者のためのネットワークセキュリティ	81,900	3	19.5	09:30~17:00	1月	企業ネットワークシステムにとって脅威となる、不正アクセス攻撃、情報漏えい、コンピュータウイルス被害など、その技術的な手法や動作などを理解し対策する方法について学習します。 実機を設定してFW、メールサーバ、Webサーバ、DNSサーバのセキュリティ対策について知識を深め、演習を通してセキュリティ設計知識を身につけます。	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセス攻撃、情報漏えいの仕組み/原因について理解する 各種ネットワーク機器やサーバによるセキュリティ対策を実施できる ネットワークのセキュリティ設計技術を身につける 	2	~3	マシン実習
	ネットワーク管理者が知っておきたいIPv6の基本	50,400	2	13	09:30~17:00	8月	IPv4のアドレスが枯渇しIPv6への移行は必至、今後ネットワーク技術者にとってIPv6に関する知識は必須です。 知っておきたいIPv6の基本機能とそのメリット、そして問題点を解説します。	<ul style="list-style-type: none"> IPv4とIPv6の違いを習得する。 IPv6の設定と運用に必要な知識を身につける。 IPv6に移行する際の問題点を把握する。 	2	~3	マシン実習
システム設計・運用・保守	システム設計	69,300	3	19.5	09:30~17:00	1月	システム開発の各工程(現状分析、要件定義、外部設計、内部設計、プログラム作成、テスト、総合テスト)の手順で行うべきことを理解し、それぞれの各業務が実践できる能力を養います。 重要プロセスを理解し、要件定義、外部設計、テストにおける注意点の洗い出しと、対応策を演習により理解します。	<ul style="list-style-type: none"> 標準のソフトウェア開発プロセスを理解する。 開発手法の歴史を理解する。 システム開発における標準化やドキュメントの重要性を理解する。 	2	~3	講義
	UI設計のための基礎知識	46,200	2	13	09:30~17:00	11月	多くのユーザにとって「わかりやすい」「使いやすい」ユーザインタフェース(UI)は「操作説明のための時間を少なくする」「マニュアルの見通しをよくする」「ヒューマンエラーを減らす」など多くのメリットを生み出します。 この研修ではシステムにおけるUIの重要性に目線を置き、よりよいシステムにしていけるためにデザイン効果、人間の認知に関わる理解等の基礎知識を習得します。	<ul style="list-style-type: none"> UIの重要性を理解する デザイン効果や人の認知を理解しUI設計に反映することができる 	1	~2	講義+マシン実習
	プロジェクトを失敗させないための要求定義・要件定義	50,400	2	13	09:30~17:00	10月	要求定義の誤りによる手戻りコストは、7割から8割のロスを生みます。また、要求自体を聞き取れないことがプロジェクト失敗の過半数を占めるといわれています。正しい手法を理解することにより、これらを排除します。システム構築の最上流工程に位置づけられる「要求定義」、システムで実現すべき機能仕様を定義する「要件定義」。両者の違いを明確にします。	要求を抽出する仕組みを考えることにより要求を取得し易くすることができるようになる。 要求と要件を明確にすることにより正しいシステム構築の方向を明確にできるようになる。 要求定義・要件定義を間違いなく行えるようになる。	2	~3	講義
	システム開発におけるレビュー技法	50,400	2	13	09:30~17:00	2月	システム開発において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。 1日目はレビューの「視点」を知り、2日目は「技法」を学びます。 また、よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。	<ul style="list-style-type: none"> 様々なレビューの種類の違い、どのような視点でレビューを行うかの視点を習得する。 インスペクションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの技法を習得する。 	2	~3	講義+演習
情報セキュリティ	経営者のための情報セキュリティ	46,200	2	13	09:30~17:00	9月	経営者として実施すべき必須の「会社の情報セキュリティ対策」について解説します。自社の情報セキュリティの実施状況を把握する方法や実際のセキュリティ対策を解説します。企業の経営資源であるモノ、ヒト、金と情報の特性の違いを分かりやすく解説し、情報を活用する上で大切な情報セキュリティの基礎知識を学習します。また、従業員教育の実施方法について解説します。	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティの必要性を理解する。 自社の情報セキュリティの実施状況を把握する。 自社に必要な情報セキュリティ対策を立案する。 従業員教育を実施する方法を理解する。 	2	~3	講義+演習
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント実践	46,200	2	13	09:00~17:00	8月	プロジェクトマネージャを育成する組織としての考え方を理解し、PMBOKやCMMIの知識も取り入れながら、プロジェクトを推進する場合に、リーダーが心得ておくべきポイントを確認します。 その上で、リスク管理・品質管理に注意しながらプロジェクトの成功に向けて効率的にプロジェクトを推進する知識を確認します。 成功するためのプロジェクトの進め方を理解します。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいプロジェクトの進め方をしているかどうかを確認する方法を身につける。 現実に失敗しやすいポイントに対しての対応策を色々な方向から見る事が出来る力を身につける。 プロジェクトを進める上での方向性を確認する方法を習得できる。 	1	~2	講義
	PMBOKに準拠したITプロジェクト管理 基礎編	81,900	3	19.5	09:00~17:00	7月	プロジェクト管理の世界標準として位置づけられているPMBOKの管理体系の基本的な知識を修得し、それをITプロジェクトの計画策定と実行管理に適用する手順やポイントを修得します。 プロジェクトの立ち上げ~計画の策定~実行管理~終結に至るライフサイクルの中で、講義と演習問題を連携させて理解を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> PMBOKのプロジェクト管理の考え方、管理体系を説明することができる PMBOKのプロジェクト管理を基にしたシステム開発プロジェクトの計画・管理の仕方を説明できる 	3	~4	講義
	プロジェクトマネージャ(PMBOK計画編)	81,900	3	19.5	09:00~17:00	8月 10月	プロジェクトマネジメントの国際標準であるPMBOKに準拠したITプロジェクトの管理体系と計画策定の仕方を習得します。 計画無くして管理なし! 良い計画を策定することがプロジェクトを成功に導く上で基本中の基本です。 知識だけではなく、事例演習を通してプロジェクト計画を疑似体験することにより、実践的なスキルを高めることができます。	<ul style="list-style-type: none"> PMBOKの管理体系を説明することができる PMBOKをベースにしてITプロジェクトの計画を策定することができる 	4		講義+グループ演習

コース ジャンル	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態
コース ソフト	プロジェクトマネージャ(PMBOK実行管理編)	81,900	3	19.5	09:00～17:00	11月	管理の基本は、策定したプロジェクト計画に沿って、タイムリーにPDCAサイクルを廻行し、問題の早期発見・早期対策を実施することです。プロジェクトを実行する中で進捗遅延や予算超過、品質低下などの諸問題が発生しますが、本編では、計画・目標を実現するための現状分析と問題解決の仕方、プロジェクト管理の世界標準であるPMBOKの管理体系をベースにして修得します。知識だけでなく、事例演習を通してプロジェクトの実行管理を擬体験し、実践的なスキルを高めます。	・PMBOKの管理体系を説明することができる ・PMBOKをベースにしてITプロジェクトの実行・管理を行うことができる	4	講義+グループ演習
	ITプロジェクト品質マネジメント	81,900	3	19.5	09:00～17:00	1月	三大プロジェクト管理と言われるQCDの中でQ(品質管理)の成功率が最も低い。品質を確保することがひいては納期を確保し、予算内に納めることにもなり、プロジェクト管理の中で品質管理は最も重要である。本編では、プロジェクト管理の世界標準であるPMBOKをベースにして、ITプロジェクトを成功させるポイントを修得します。講義による知識と事例演習や実在プロジェクトの成功体験・失敗体験による実践的なスキルの両面から、ITプロジェクトの品質管理のポイントを修得します。	・PMBOKの管理体系を説明することができる ・PMBOKをベースにしてITプロジェクトの品質管理を行うことができる	4	講義
ヒュー マンズ スキル	ITプロフェッショナルのための コミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～	46,200	2	13	09:30～17:00	6月 10月	IT人材に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己の伝達能力が把握でき、今後活かしている内容です。	・自分だけの力でロジカルに考えることができる。 ・読みやすく分かりやすい文章が作成できる。 ・他者と協力してプレゼンテーションが実施できる。	1	～2 講義+グループ演習+発表
	ITプロフェッショナルのための ネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～	50,400	2	13	09:30～17:00	7月 12月	IT人材に必要な不可欠なクレーム対応、トラブル対応のスキル、顧客の信頼を得るスキル、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につながるスキルを理論と実践により身につけます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のネゴシエーション能力の状況が把握でき、目指すべき方向が明確になります。	・交渉が今までよりも好きになる ・顧客への簡単な提案が出来るようになる。 ・自分一人で利害関係者との調整ができるようになる	2	～3 講義+グループ演習+発表
	ITプロフェッショナルのための リーダーシップ ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～	50,400	2	13	09:30～17:00	9月 2月	IT人材に必要な不可欠な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のリーダーシップ能力が把握でき、今後の目指すべき姿を明らかにします。	・リーダーシップとは何か、リーダーの振るまいが理解できる ・部下、後輩育成が自分一人で実施できるようになる ・自己の目指すべきリーダー像が文章で明確化される	2	～3 講義+グループ演習+発表
	チームビルディングとモチベーションアップ研修	50,400	2	13	09:30～17:00	11月	IT人材に必要なチームビルディングのスキル(すなわち、褒める、叱る、からモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダーシップとフォロワーシップ)を理論と実体験を元に学びます。研修参加者が一つのチームです。4つのゲーム的なアクティビティを通じて他者と交流でき、楽しく学ぶことができます。自分自身の振り返りはもちろんのこと、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置がわかり、さらなる成長のための自分自身のテーマが分かります。	・チームの混乱期を歓迎できるようになる ・メンバーの褒め方を7つ以上使い分けられるようになる ・モチベーション理論について基礎的な知識を身につけて他者に説明できるようになる	2	～3 講義+グループ演習+発表
	人を教える技術～自分で考えて動ける人を育てるために～	50,400	2	13	09:30～17:00	9月	今、企業では「自分で考えて動ける人材」が求められています。「自分で考えて動ける人材」を育成するためにコーチングなどの手法が導入され「気付き」重視する場面が増えていきます。しかし、大切なことは、気付きの元となる「知識は教える必要がある」ということです。この研修では「自分で考えて動ける人材」を育てるための「教え方」を学びます。	・「自分で考えて動ける人材」を育てるため「教え方」を身につける ・メンバーに教えずぎない説明力を身につける ・メンバーのやる気を引き出す「教え方」を身につける	3	～4 講義+グループ演習+発表
	職場ですぐできる問題解決・発想法	42,000	2	13	09:30～17:00	11月	この講座では、組織や業務における問題を把握して解決するスキルを習得します。初日の講義で基本的な問題解決のプロセスを学習し、グループ演習で実践力を養います。この研修では、現場の知恵を掘り起こすために開発された「マンダラシート」という表を使うことが一つの特徴となっています。また解決案を考えるステップではアイデア発想法の要素も取り入れていきますので、常識にとらわれない独創的アイデアを生む手法を習得できます。	問題解決を行う上での、基本原則とプロセスを修得する。 自分の職場で、問題解決のミーティングをリードできるようになる。 参加メンバーの知恵を掘り起こす「マンダラシート」の活用方法を習得する。 常識にとらわれず、ユニークな視点でアイデアを発想できるようにする。	1	～2 講義+グループ演習
ビジネ スマン	ヒトを動かす提案書・企画書作成のための図解手法	50,400	2	13	09:30～17:00	7月	ヒトを動かす道具として、提案書・企画書は社内社外を問わず、様々なビジネスシーンに必要となります。ヒトを動かすには、分かりやすいストーリーと、それを表現した図解が効果的です。ストーリーの作り方、図解の表現の仕方を学び、提案書・企画書作成スキルの向上を目指します。	ヒトを動かすためのわかりやすいストーリー作り、及びそれをわかりやすく表現するノウハウを身につけます。	2	～3 講義+演習
	提案型SEのための顧客ニーズ把握インタビュー技術	50,400	2	13	09:30～17:00	7月	PM、PL、SE、営業及び管理職が、新規受注を行うためには、積極的な顧客提案が必要です。そのためには、顧客の情報を知り、真のニーズを聞きとることが重要です。そして、顧客を感動させるシステム企画提案書をつくり、顧客満足度の高いプレゼンテーションを行うことにより、高い受注率につなげることができます。この研修では、徹底的なニーズの聞き取り、提案企画書のコツ、積極的なプレゼンテーションを体験し、新規受注につなげる方法を身につけます。	・顧客の真のニーズを聴くことができる ・顧客をうならす企画・提案ができる	2	～3 講義+グループ演習

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
ヘッパ ル	顧客の心をつかむITソリューション提案の実践	50,400	2	13	09:30～17:00	11月	IT提案が成約するかどうかは、どれだけ「顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむソリューションを提示するか」にかかっています。それを実現するために必要な「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示の見せ方」といったスキルを習得します。(提案書を作成する研修ではありません。)	仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身につけます。	2	～3	講義＋グループ演習
	ITベンダーのためのビジネスプラン作成講座	23,100	1	6.5	09:30～17:00	10月	ビジネスプランは「事業の設計書」です。事業を始めると様々な想定外のおこし、事業の進め方や判断に迷うことが多々あります。そんな時に自分の羅針盤となるのが「ビジネスプラン」です。ビジネスプランができていれば、仲間、仕入先、取引先、金融機関などに事業を説明する際に納得してもらいやすくなります。「ビジネスプラン」作成に必要な知識や視点、手順を習得します。	・「ビジネスプラン」作成に必要な経営的な視点を身につけることができる。 ・「ビジネスプラン」作成の手順をしり、ビジネスプランを作成できるようになる。	2	～3	講義＋演習
業務基 礎知識	SEのための財務会計の基礎知識	46,200	2	13	09:30～17:00	6月	会計システム構築時の留意点などを交えて企業経営に欠かせない財務会計の基礎知識を習得します。決算書(貸借対照表、損益計算書)の意味、仕訳から決算書の作成の方法、財務分析の基礎知識、キャッシュフロー計算書の考え方、原価管理の基礎知識などを講義と演習を通じて学びます。	お客様、もしくは社内で財務会計の話をする際に必要最低限の知識を身につけます。	1	～2	講義＋演習
	生産管理の基礎知識	25,200	1	6.5	09:30～17:00	7月	生産管理の業務は販売管理や顧客管理などの業務に比べ、一般のSEにはなじみが薄いものです。そのため、システム導入を行う際にお客様との話がかみ合わず、本当に解決しなければならない問題を見落としてしまうことがあります。本講座では、一連の製造業の流れをみながら、生産管理に関する知識を広く浅く習得します。	お客様、もしくは社内で生産管理の話をする際に必要最低限の知識を身につけます。	1	～2	講義＋演習
	販売管理の基礎知識	25,200	1	6.5	09:30～17:00	10月	販売とは「モノを売る」ことに他なりません、それを「管理する」となる。販売に関する基本的な知識が必要になります。そこで本研修では、販売管理の全体スキームを学び、その中でも基本となる、①商品管理、②顧客管理、③受注・出荷管理、④売掛金管理、⑤仕入・在庫管理、⑥利益管理について学習します。	・販売管理上必要となる各種マスターの種類と情報項目が理解できる ・受注、出荷、請求、回収といった日常の販売活動において必要となる情報が理解できる ・実地棚卸、損益計算などの期末処理について理解できる	1	～2	講義＋演習
	速習！SEのための会計業務の基礎知識	25,200	1	6.5	09:30～17:00	2月	会計システム構築時の留意点などを交えて企業経営に欠かせない会計の基礎知識を習得します。決算書の意味、仕訳から決算書の作成の方法の基礎知識などを講義と演習を通じて学びます。本講座は「SEのための財務会計の基礎知識」から「決算書の意味」、「仕訳、及び決算書の作成」をピックアップしたものです。	お客様、もしくは社内で会計の話をする際に必要最低限の知識を身につけます。	1	～2	講義＋演習
	ビジネスのためのコミュニケーション	42,000	2	13	09:30～17:00	4月	社会人としての心構えからはじまり、挨拶、言葉遣い、電話対応、企業訪問の仕方などビジネスに必要なマナーを身につけます。また基本的な仕事の進め方や組織内コミュニケーションの重要性を認識します。見やすく分かりやすい業務報告書が作成できるスキルを習得します。ロールプレイング中心とし体験していただくことにより身につけることができる講座内容です。	・社会人としての基本ビジネスマナーを身につけることができる ・仕事の進め方ならびにコミュニケーションスキルを高めることができる ・論理的思考を利用して分かりやすい報告書作成ができる	1	～2	講義＋体験実習
	新SEのための会社の仕組みとセキュリティマナー	42,000	2	13	09:30～17:00	4月	システム開発に携わる者として「情報」を理解し、情報を収集し、正しく伝達する能力を養います。企業の仕組みを、情報の流れを中心に解説し、企業活動で情報がどのように使われるかを理解します。情報を集め正しく伝達する方法をグループワークで習得します。メールやSNSの利用など社会人として必要な情報セキュリティマナーを習得します。	・企業活動の仕組みと企業活動に不可欠な情報を理解する。 ・情報の集め方と正しい伝達を習得する。 ・社会人としての情報セキュリティマナーを習得する。	1	～2	講義＋演習
	コンピュータ概論	42,000	2	13	09:30～17:00	4月	IT技術者を目指す方が、コンピュータの動く仕組みに関して習得します。基数変換や論理演算といったコンピュータを知る上での基礎知識を習得します。また、コンピュータを構成する機器を実際に観察するなどして、コンピュータの動く仕組みを理解していただきます。ハードウェア、ソフトウェアに関して、最新の情報も交えてお伝えします。	・コンピュータを構成する機器に関する知識を身につける ・コンピュータの動く仕組みを理解する。	1	～2	講義＋演習
	ネットワーク基礎	63,000	3	19.5	09:30～17:00	4月	IT技術者として必要不可欠なネットワークの基礎知識を習得します。TCP/IP通信におけるプロトコル階層間でのデータの受け渡し手順について学習し、主な通信プロトコルの概要を習得します。実習では、実際にネットワーク機器に触れ、接続・設定を行い各々がどのような仕組みで動作しているのか、理解を深めます。	・ネットワークの基本用語を理解し、イメージを持つことができる ・基本的なネットワーク(TCP/IP)の設定を行うことができる ・ネットワークを構成する機器と役割を理解し、説明ができる ・コンピュータネットワークで利用される主なサービスを理解し、説明できる	1	～2	マシン実習＋グループ演習
	システム開発と運用(要件定義から運用まで)	63,000	3	19.5	09:30～17:00	4月	IT技術者を目指す方が、システム開発・運用に必要な知識を講義と演習を通じて習得します。具体的には、要件定義、外部設計、内部設計、コーディング、テスト、運用、保守について広く知識を習得します。なお演習は、グループ形式でシステムの画面設計からフローチャートまでを行います。	・システム開発と運用におけるプロセスを理解し、各プロセスではどのような仕事を行うかの知識を身につける。	1	～2	講義＋グループ演習
	アルゴリズムとデータ構造	63,000	3	19.5	09:30～17:00	4月	システム上の処理をどのような手順で行うのかという考え方(アルゴリズム)とその記述法を学習することで、システム開発やプログラミングをする上での考え方を習得します。また、データの集まりをコンピュータの中で効果的に扱うための基本的な格納形式(データ構造)を学びます。演習を行いながら理解を深め、アルゴリズムとデータ構造の基礎知識を習得します。	・基本的な処理の流れを考え、机上でフローチャートの作成が可能となる。 ・構造化プログラミング手法の順次・選択・繰返しの基本制御構造を理解する。 ・変数や配列の概念とデータの扱い方、基本的なデータ構造を理解する。 ・コンピュータ専門用語に対する理解を深め、苦手意識を取り除く。	1	～2	講義＋グループ演習

コース	セミナー名	受講料 (税込)	日数	時間数	標準時間帯	開催月	研修概要	到達目標	ITSSレベル	講義形態	
情報処理技術者育成	データベース概論	42,000	2	13	09:30～17:00	4月	・データベース技術者が要求される全般的な業務内容を理解し、論理設計が行なえる能力を身につけます。	・リレーショナルデータベースの特徴を説明することができる。 ・複数種類のデータベース・サーバーの特徴を理解する。 ・データベースの論理設計を行うことができる。	1	～2	講義+グループ演習
	プロジェクトマネジメント基礎	42,000	2	13	09:30～17:00	4月	情報業界の現状を知って、その中でどのような人材が求められているかを理解します。多くの仕事の場におけるプロジェクトというものを理解し、プロジェクトマネジメントの必要性とその現場における立ち居振る舞いを理解し、1つ1つのプロジェクトの経験が自分自身のスキルを形作ること理解します。 10年後のリーダーを目指すために必要な知識を習得します。	1. 新人としてプロジェクトに臨む心構えを自分なりに捉えることができる。 2. 標準的なプロジェクトの進め方を知り、どう行動すべきかを理解する。	1	～2	講義+グループ演習
	HTMLとCSS	46,200	2	13	09:30～17:00	5月	Webページを作成する上で欠かせないHTMLとCSSを習得します。課題に基づいて辞書を利用しながら自力でページを作成し、コンテンツをサーバにアップロードするまでの手順を一通り体験します。 Webプログラミング(VB.NET, Java, PHP, Perl, Rubyなど)の前提知識としても必須の内容となります。	・基本的なHTMLタグとCSSを用いてWebページレイアウトを構成することができる ・課題に基づいたページを辞書を引ながら作成し、サーバにアップロードするまでの手順を理解する	1	～2	マシン実習
	SQL基礎	46,200	2	13	09:30～17:00	5月	データベースを直接管理、運用するだけにとどまらず、プログラムでDB連携を行う際にも必要となるSQL構文を習得します。 テーブルレコードの検索・追加・更新・削除を中心に、実際に端末操作を行いながら体得できます。 また、引き続きSQLを学ぶための環境作りに関してもアドバイスいたします。	・データベースの基本的な操作をSQLを用いて行うことができる。	1	～2	マシン実習
	プログラミング技術 (VB.NET)	115,500	5	32.5	09:30～17:00	5月	変数・代入・条件分岐・繰返し処理などといった「プログラミング的な考え方」をVB.NETを用いて学習します。 また、オブジェクト指向の基本的な考え方も学習します。	・Windowsフォームアプリケーションの作成から配布までの一連の作業が行える。 ・条件判断や繰返し処理を使用したコードを記述できるようになる。 ・プロパティとメソッドを持ったオブジェクト(クラス)を作成できるようになる。 ・やや規模の大きなアプリケーションが作成できるようになる。	1	～2	マシン実習
	プログラミング技術 (Java)	115,500	5	32.5	09:30～17:00	5月	Javaによる基本的なプログラミング技術を習得します。 変数や制御構文といった基本文法その他、オブジェクト指向の概念と実装方法、各種APIの使用法を実習を通して学んでいきます。	・Javaで基本的なプログラムを作成することができる。 ・オブジェクト指向の基本的な概念を理解できる。	1	～2	マシン実習
	WebDBプログラミング (VB.NET)	115,500	5	32.5	09:30～17:00	5月	VB.NETを使用して、データベースを使用したWebアプリケーションを作成するために必要な技術を習得します。 さらに、Webサーバーの設定方法やセキュリティ上の注意点、セッションの管理方法などを学び、実務にスムーズに移行できる技術の習得を目指します。	・Webアプリケーションの仕組みが理解できる。 ・VB.NETを使用したWebアプリケーションを作成できるようになる。 ・データベースを使用したプログラムが記述できるようになる。 ・Webとデータベースを組み合わせたアプリケーションが作成できるようになる。	1	～2	マシン実習
	WebDBプログラミング (Java)	115,500	5	32.5	09:30～17:00	5月	データベースと連携したWebアプリケーションをJavaで開発する手法を習得します。 サープレットやJSP、JDBCといった基盤技術をMVCアーキテクチャに基づいたWebアプリケーションを構築しながら学んでいきます。 また、セッション管理やコネクションプールなど、システムに必要な不可欠な機能についても習得できます。	・Webアプリケーションの開発に必要な基礎技術を理解できる。 ・サープレット/JSP、JDBCを用いたWebアプリケーションの開発を行うことができる。	1	～2	マシン実習
	プログラミング言語・基礎 (Java)	115,500	5	32.5	09:30～17:00	4月	変数・代入・条件分岐・繰返し処理などといった「プログラミング的な考え方」をJavaを用いて学習します。 また、オブジェクト指向の基本的な考え方も学習します。	・コンソールアプリケーションとGUIアプリケーションが作成できるようになる。 ・条件判断や繰返し処理を使用したコードを記述できるようになる。 ・プロパティとメソッドを持ったオブジェクト(クラス)を作成できるようになる。 ・JDKの構造を理解し、基本的な機能を適切に利用することができるようになる。	1	～2	マシン実習
	プログラミングのためのSQL	46,200	2	13	09:30～17:00	4月	データベースを直接管理、運用するだけにとどまらず、プログラムでDB連携を行う際にも必要となるSQL構文を習得します。 テーブルレコードの検索・追加・更新・削除を中心に、実際に端末操作を行いながら体得できます。 また、引き続きSQLを学ぶための環境作りに関してもアドバイスいたします。	・データベースの基本的な操作をSQLを用いて行うことができる。	1	～2	マシン実習
	WebUI構築技術	46,200	2	13	09:30～17:00	4月	Webページを作成する上で欠かせないHTMLとCSSを習得します。課題に基づいて辞書を利用しながら自力でページを作成し、コンテンツをサーバにアップロードするまでの手順を一通り体験します。 Webプログラミング(VB.NET, Java, PHP, Perl, Rubyなど)の前提知識としても必須の内容となります。	・基本的なHTMLタグとCSSを用いてWebページレイアウトを構成することができる ・課題に基づいたページを辞書を引ながら作成しサーバにアップロードするまでの手順を理解する	1	～2	マシン実習
	Webプログラミング (Java)	184,800	8	52	09:30～17:00	4月	Javaを使用して、データベースを使用したWebアプリケーションを作成するために必要な技術を習得します。 さらに、Webサーバーの設定方法やセキュリティ上の注意点、セッションの管理方法などを学び、実務にスムーズに移行できる技術の習得を目指します。	・Webアプリケーションの仕組みが理解できる。 ・Javaを使用したWebアプリケーションを作成できるようになる。 ・データベースを使用したプログラムが記述できるようになる。 ・Webとデータベースを組み合わせたアプリケーションが作成できるようになる。	1	～2	マシン実習